

## ナシ病害虫の発生状況（9月上旬）

### （1）ナシ黒星病

発生ほ場割合は、新梢葉、果実ともに平年並の状況でした（図1、2）。

今後、りん片生組織の露出が多くなる10月上旬～11月上旬頃に秋期防除を行い、越冬菌密度の低下を図りましょう。

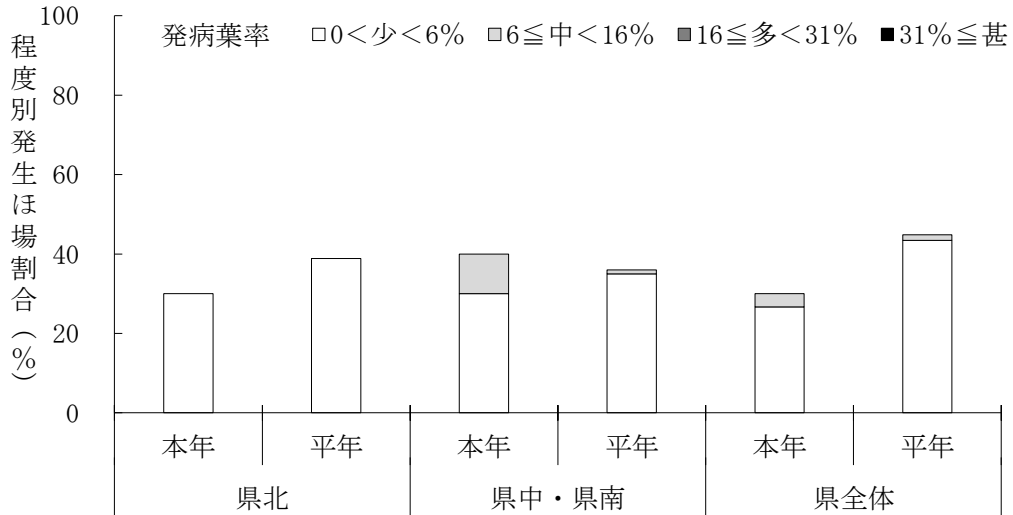


図1 ナシ黒星病の新梢葉での発生状況（9月上旬、幸水）

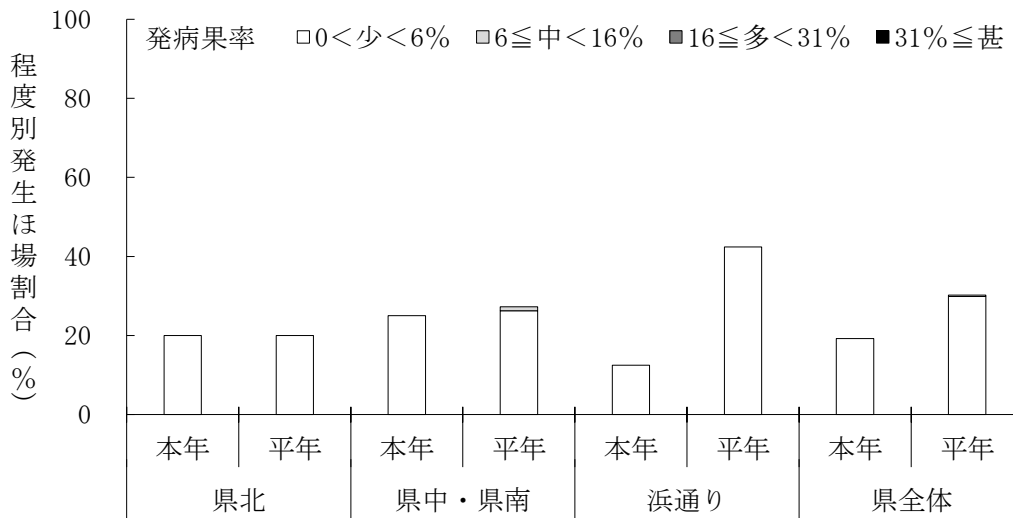


図2 ナシ黒星病の果実での発生状況（9月上旬、豊水）

### （2）ハマキムシ類

新梢、果実ともに被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。

### (3) シンクイムシ類

ナシヒメシンクイによる果実被害の発生ほ場割合は、中通りでは発生が確認されず、浜通りでは平年より高い状況でした（図3）。本年は高温で推移しており第6世代幼虫による果実被害が懸念されるため、果実被害が目立った園では、ナシ晩生種に対し追加防除を検討してください。

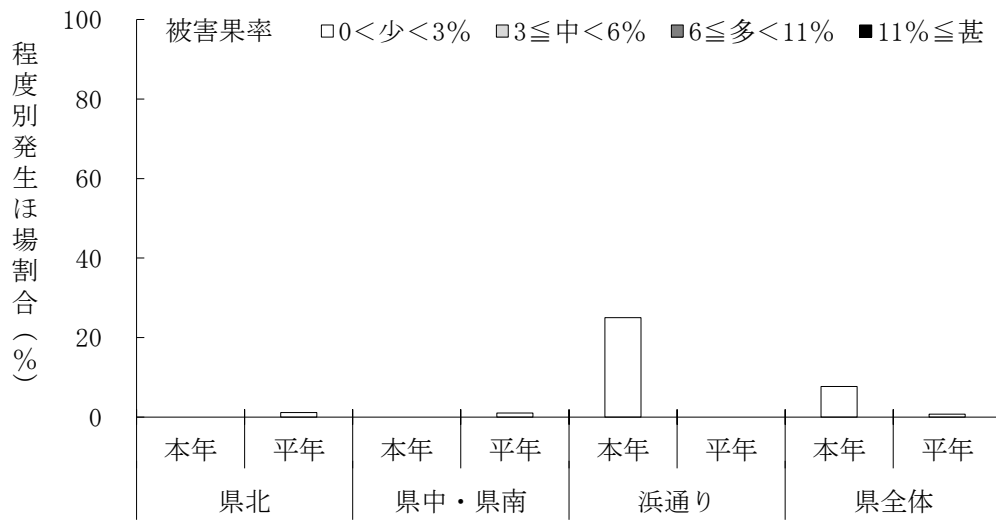


図3 ナシヒメシンクイによる果実の被害状況（9月上旬、豊水）

### (4) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、平年よりやや低い状況でした（図4）。

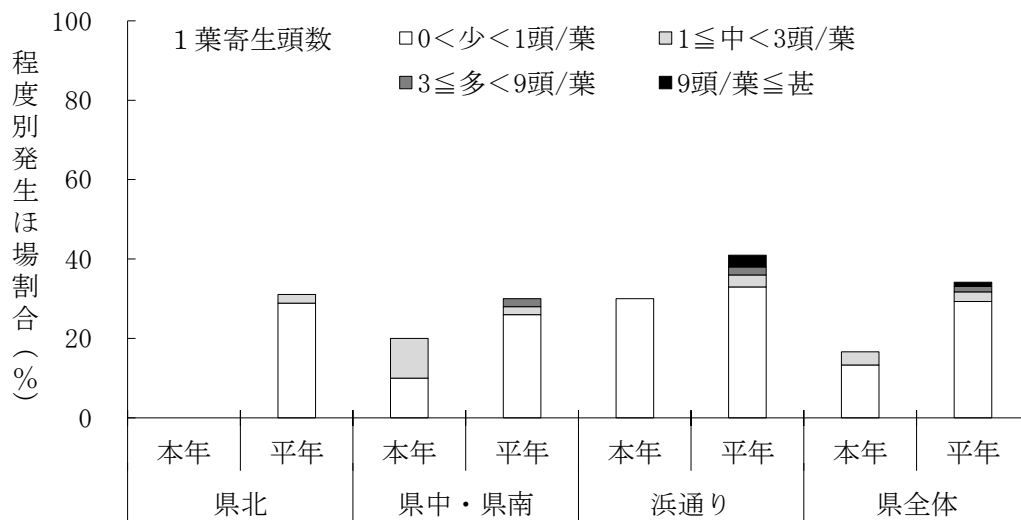


図4 ハダニ類の発生状況（9月上旬、幸水）